

千草子るる

題字 原あやめ

お元気にお過ごしの日々 (日々の目的)

千草会名誉会長
理事長 原あやめ先生

今年の梅雨は「じめじめ型」ではなく、適度な晴れ間に、ほっといたしましたでしたが、皆様のところではいかがでしたでしょうか。

原あやめ先生は、お元気にお過ごしでいらつしゃいまして、この五月には、九十二歳のお誕生日をお迎えになりました。先生の張りのあるお声は、お年を重ねられた方とは、とうてい思えません。昨年、痛められました脚もよくなられ、その後も、屋内では杖に頼られることもなく、ご用をこなしていらつしゃいます。しかし、先生は、もしも、また、怪我をしては、皆に迷惑や心配をかけることになるので、と、少し、外出は控えられ、お目にかかれる機会は少なくなりましたが、今も理事長としてのお仕事にあたっていらつしゃいます。

先生は、ご存知の通り、常に前向きでいらつしゃいます。それは「生きるということはその努力の積み重ねです」と、お話くださるその

姿勢にあると思います。日常においても「日々何か目的を持って生活すること、そして、その達成感を喜びとして期待する気持ちが元気の源（みなもと）になっています。一つの目的を達成すると、また次々と試行錯誤を重ね、その達成感がまた喜びにつながります」と、「元気の源」についてもお話し下さいます。

千草会員である卒業生も、駿河台、市ヶ谷旧校舎、新宿仮校舎、現校舎へと、移り変わると共に、年代を重ねてまいりました。今では年配者から若い方と、幅広い層になっております。年齢層に幅はありましても、先生のお示し下さっている前向きな姿勢は、年配の方々には励みにして頂き、若い会員の方達はこの刺激を、これからの自分自身を育てる糧にして頂きたいと思えます。

お部屋の窓辺に、先生のお手入れに添えて、やさしいピンクの花、セントポーリアが咲いております。

平成十五年七月 村田節子記

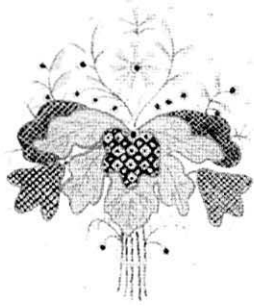
お変わりございませんでしたか

梅雨明け前の九州方面の豪雨、東北の強震、日本列島縦断の台風10号など、大変な荒れ様でした。そして冷夏も心配され、案じながら、お変りのないことを願っております。

千草会

■目次

- お元気にお過ごしの日々 1頁
- 傍目八目／ご案内
山脇ギャラリー展示スケジュール..... 2頁
- 卒業生だより 3頁
- ジュウリーアート科10周年記念展
..... 4・5頁
- インテリアデザイン科同窓会展の
お知らせ 6頁
- 卒業生ニュース 7頁
- 授業風景／学院だより 8頁
- 研修旅行／学務課より 9頁
- 山脇展のお知らせ／千草会欲談室
について／講師・職員移動報告 10頁



15

年号

傍目八目



学院長
鈴木正治先生

学院長をお受けして、この秋で3年になります。何をすべきか、何をしなければならぬのか、何ができるか、等々悩んでおります。

思えば、1964年に新設されたりビジュアルアート科の講師としてお手伝いをしておりまして、36歳でした。教えることは学ぶの半ば。例えから、人に教えることは、半分は自分の勉強となり、そのためには教える側に、曖昧な点や不確かな面があつてはならず、確かなことを教えるためには自分自身で確認しなければならず、その一種の復習を通して自分自身が学ぶことではないか、と勝手に解釈してお教えしてまいりました。

三つ叱つて五つ褒め七つ教えて子は育つ、と申します。さてさて私も70歳も半ば、知力体力は当時の半分以下、より良い学院にするには、どうあるべきか、千草会の皆様より忌憚のないご意見を頂きたく思い、表題を傍目八目とさせて頂きました。

ご案内 学科組織について

「ご意見を……」と申しましたものの、立ち止まっては居られません。かねてより検討課題になっておりました学科組織の一部統合に関しましては、諸先生方と協議を重ね、左記の事由により、平成17年度より実施する運びになっております。このことを踏まえて、充実させるためのご意見やアイデアをお聞かせ頂きたく思っております。

それは、各科にコンピュータが導入された今、殊にビジュアルデザイン科とデジタルデザイン科の授業内容において、オーバーラップしている科目がみられます。この点の検討結果として近年、各分野の細分化傾向から、今また、統合の上、総合的に授業内容の充実を図ることの必要性が感じられたことによるものです。学生が広い視野をもった上で、各目の道を深めて行けるように、と願つてのことです。したがって、その枠組みの中の授業内容の大切さを痛感させられます。今年はビジュアルデザイン科の入学が増え、図らずもタイミンクよく後押しされていると思います。なおさらのこと、充分な態勢を整えてのスタートにしたいと願っているつもりです。

○平成17年度より

ビジュアルデザイン科
インテリアデザイン科
ジュウリーアート科

以上3科となります。

山脇ギャラリー展示スケジュール

学院・千草会関係

6月30日～7月12日	ジュウリーアート科 (千草会)
	10周年記念展
	ジュウリーアート卒業生
8月2日～8月20日	「学生作品展」 (学院)
8月25日～8月30日	TOKYO GIRLS FESTIVAL (学院)
10月4日～10月5日	「山脇展」 (学院)
平成16年	
1月8日～1月17日	「グループ展」 (学院)
	姉南公也
1月19日～1月24日	「(さきかけ)」 (学院)
	ビジュアルデザイン科2年
2月5日～2月10日	「グループ展」 (千草会)
	ビジュアルデザイン科卒業生
2月21日～2月22日	「卒業・進級制作展」 (学院)
3月15日～3月19日	「アート'04」 (学院)
平成16年度	
7月6日～7月10日	「インテリアデザイン科 (千草会)
	同窓会展」
	インテリアデザイン科卒業生

●お知らせ

アドレスの追加と訂正
<http://yamawaki.ac.jp/>
E-mail:kyomu@yamawaki.ac.jp

卒業生だより

「山脇で教えて頂きたい」



洋裁師範科 昭和39年卒
編物料 昭和40年卒
編物料 助手
松木祥子 (旧姓小立)

美しい紫陽花の季節も終わり、そろそろ梅雨明けの頃となりました。私の在学中は、椿山荘で園遊会が開かれ、編物料の学生の時は、舞台で民謡を踊つた事など懐かしく思い出します。

多くの先生方にお世話になりましたが、編物料の大森静子先生と柳田リエ先生に編み物を教えて頂き、私の四十年間の編物生活の基礎となつております。卒業後、大森先生の助手として、二年間お世話になり、その後、結婚し、若屋に住み、その頃、街の中や電車の中で知らない婦人から話しかけられるようになりました。自分で編んだカーディガンやセーターを着ていたからです。大森先生に洋裁の製図を使って、カーディガン等を編む事を教えて頂き、体の線に沿つて、仕上がりがとても綺麗だったようで、手作りの温かみもあつたのでしょう。買物をして、いる私を見て「自分で編んだのかしら……」と言う声が聞こえてきた時は何故かとても嬉しかった事を覚えています。そのうち教えてほしいと言われ、数人の人達に手編みを教えるようになりました。学校と違い一人一人違う作品を編む

「一生の仕事場」



デジタルデザイン科
平成15年卒
斉藤友紀

ので、教える私がつつと勉強しなければ、手編み教室に通い始め、改めて手編みの奥深さを実感しました。
あれから三十余年、私も勉強を続けながら、我家や友人の家で手編みを教えております。生徒さんとは皆長いお付き合いです。作品が出来上がるまで、皆嬉しそうに「先生、余所行きのいいのが出来ました」と言つてくれ、こんな時はとても嬉しく、教えていて良かったと思いがお稽古が終わると、お茶とケーキを頂きながらお喋りするの楽しく、ストレス解消になっているような気がします。
阪神大震災の折には皆様に大変ご心配いただきましたが、住んでいたマンションが全壊し、四年間大阪に仮住いしておりました。マンションを再建し、四年前には戻れる事が出来ました。山脇で学び、編物に出会えた事で、生涯の仕事が見つかったのは本当に幸運でした。おかげさまで毎日を元気に楽しく過ごしております。

今不況の波をうけて就職難の時代です。私ももちろん、就職活動は何社にも挑戦し、中には内定を頂いた所もあったのですが、仕事とは「一

生の楽しみ」とも捉えている私は、本当に自分の力を発揮でき、一生の仕事にできるような仕事場か、と問われると、拭い切れないものがありました。幸いにも私は、今春、講師の先生のwebデザイン事務所にお勤めすることが出来ました。

現在の仕事場に決まり、ここで精一杯頑張ろうと思つたのは、面接での先生との話し合いからでした。デザインの仕事について熱く語つて下さつた先生が、私に「50年後に何をしていたいか？」と質問されました。私は「豪華客船で世界を周りながら、デザインの仕事をしたい」と答えました。もちろん本気で少し、少しもふざけてはいません、先生は真剣に受け止めて聞いて下さいました。この時、私はこの会社で自分の限界までやり抜いてみようと思つていました。これからの仕事や生活をする中で、私が最も大切にしている事は、相手と接した際に得るインスピレーションです。これから先もずっと大切にしていきたいと思つています。

現在はデザインのために資料の整理、制作などの仕事もしています。忙しい時には徹夜や休日出勤もありますが、先輩や同僚の方も親切で優しく、恵まれた環境で、自然に頑張らねば！と、元気が出て来ます。

山脇では、幅広いカリキュラムが組まれ、その基礎から応用までの学習は、これからのあなた自身の道を見つめる時間にもなつていて、と思います。

在校生の皆さんにも、自分に正直に、素直に入れる仕事場を探して欲しいと思つています。

オープニングパーティー

なつかしい先生方と、再会したクラスメイトと情報や意見交換、思い出なども交えて、つきない話に、時間を忘れてしまった一時でした。



みんなで乾杯！ 石倉先生を囲んで、それぞれ話はずみしました。



中庭にて

沢山の友達で楽しいパーティーになりました



なつかしい思い出話や、職場の話なども



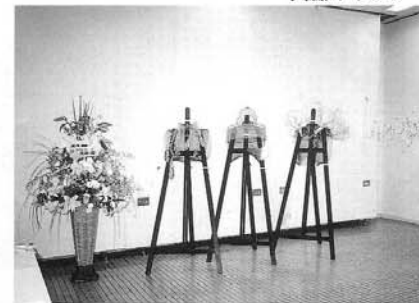
どの作品が好き？ 作りたい作品は？

DMデザイン・作成	正井容子 / 鶴田文
DM発送	中林瑞穂 / 和氣佐知子
作品収集	小山田恵美 / 正井容子 / 米田匠
作品撮影	浅沼幸子 / 佐藤裕子 / 和氣佐知子
展示	今川一良 / 滝口博昭 / 渡辺心
キャプション	佐藤裕子 / 杉山千尋
オープニングパーティー	梶野幸子 / 坂有利子 / 正井容子 / 吉野薫
第41号千草会報原稿	多久和晶子 / 田野馨 / 鶴田文

ジュウリーアート科 10周年記念展

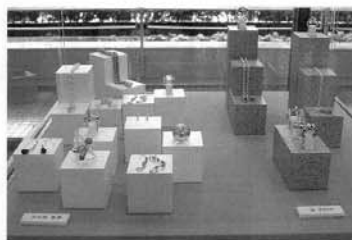
平成15年6月30日～7月12日

山脇ギャラリー



ファッションクリエイター 新人国内コンクール及び国際コンクールグランプリ入賞作品 2期生

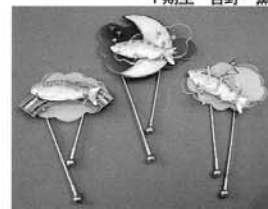
作品展示会場



10期生 奥谷桃妹子

1期生 吉野 薫

9期生 松田 健



素材の説明を聞きながら見入って



ファッションクリエイターコンクールや山脇のジュエリーショーの映像上映



ジュウリーアート科10周年記念展 HAND to HAND

ジュウリーアート科は、今年で設立10周年を迎えました。これを記念して、卒業生から、10周年展を開催しようとの声が上ががり、卒業生57名の参加者が集まりました。そして一年前から忙しい合間を縫って何度も話し合い、沢山の意見を出し合って、準備をし、学年を越えて全員で協力しあつての協力が得て、無事、10周年記念展を終えることが出来ました。

今回はなるべく多くの卒業生が参加出来るよう、卒業制作を中心とし、ジュウリー業界で活躍している卒業生の新作もまじえて展示しました。この中には、JIDA展・伊丹国際クラフト展・ファッションクリエイター新人国内コンクール・パリ国際大会、等々での受賞作品も多く含まれています。

オープニングパーティーにはJDA科卒業生はもちろん、大変多くの人たちが集まって頂き、沢山の励ましのお言葉を頂くことが出来ました。今回の展覧会によって、ジュウリーアート科の卒業後の制作活動や、この10年間の歩みを少しでも多くの人達にお伝えしたいと試行錯誤して来ました。皆様のおかげで、なんとか展覧会を行うことが出来ましたことを心より感謝しますと共に、ジュウリーアート科の更なる発展と、卒業生の活躍ぶりを、今後も見守ってくださいますようお願い致します。

記 ジュウリーアート科助手 中村佳世

第2回 インテリアデザイン科 (インテリア)
同窓会展のお知らせ

開催日 2004年 7月6日(火)～7月10日(土)
 パーティー 7月9日(金) 5時～7時

山脇ギャラリーに於いて

若いエネルギーをご披露した、昨年の第1回 I D科同窓会展から早くも、1年が過ぎ、そろそろ第2回展の準備を始める頃になりました。この会は、同じ学舎で暗々闘々、競い合ってきたクラスメイトと講師の先生方。又なかなか先輩と会うチャンスのない現役とのフレンドリーな会に、皆で育てていくことが目的です。仕事先の現場写真、イラスト、ポスター、スケッチ、パース、模型、VTRなど、そして残念ながら陽の目を見る事のできなかった作品に光りを当てる事の出来る場所です。ご自分の好きな形でパネルに貼っても、科のパネルに入れても、気軽に参加してください。皆さんのアイデアを肴に、ワインを楽しみましょう。現役学生にとっては、現実社会を知る良いチャンスになるのです。又、現役の学生の「50年後の私の部屋」の模型を肴にしましょう。

I D科同窓生と友人を、在校生、講師で、ご招待申し上げます。是非お健やかなる顔を……参加しみにお待ちしております。元気なお顔を……参加だけでも大歓迎!!

インテリアデザイン科主任 市村偉子
 助手 福澤清子

卒業生ニュース

山脇ギャラリー

●口開け Calette

開催日 H14年11月20日～29日
 H11年卒スーパーCGアート科
 LA科ビジュアルコース

H11年卒8名で結成した「Calette」の第1回グループ展です。卒業後、私達は様々な職種に就き、仕事の現場で、見て・聴いて・触って感じ、その経験から多くのことを学んでいます。同時に山脇での2年間の学習経験の大きさも感じながら、今回、その成果を発表することができ、互いに第2回展への意欲を深めました。

グループ代表 桐井英明



展示作品
 イラスト
 絵本
 CG作品
 映像
 衣装 など



桐井英明 竹内真一
 塚田高広 柏木裕介
 谷口夏織 北山恵美
 安江愛香 松波いつみ

●The Miracle Teen Age Stroll

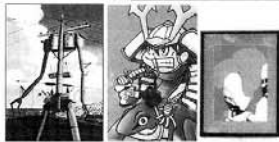
開催日 H15年1月21日～2月1日
 H14年卒ビジュアルデザイン科

手描きとコンピュータによるイラストの作品を展示。多くの方々に作品を観て頂き、様々な反応、感想を頂いたことが、今の自分達にとって大切な事であり、大変嬉しくもありました。今回の展覧会を通して、作品制作の楽しさ、観て頂ける喜びを改めて実感できた有意義な会でした。また、山脇ギャラリーで、このような展覧会を開きたいと思えます。

グループ代表 青木健太郎



グループ展の案内状



鈴木幹生 青木健太郎 松下英昭

絵本 浦本智裕



ポスター 細井秀俊

在校生有志 5名

●2人とその仲間たち展

開催日 H15年3月18日～25日
 H15年卒ビジュアルデザイン科
 デジタルデザイン科

卒業記念としての意味合いの強い展覧会に、在校生の参加も得て、バラエティに富んだ展覧会になりました。このグループ展で多くのことを学びました。自分の作品のこと、お互いの協力で開催できたことなど、今の自分を見つめ直す良い機会ともなり、今後の自分たちに役立てたいと思っています。

グループ代表 浦本智裕



卒業生の作品展示
 住宅現場写真



オープニングパーティー
 にぎやかに、情報交換も



在校生作品
 図形と住居模型

千草会だより

会長 村田節子

今年、同窓会などの行事はありませんが、すでに、ご案内いたしておりました通り、若いジュニアアート科の会員の方達で「ジュニアアート科10周年記念展」が開催されました。1期生から10期生まで、それぞれの力が展示され、改めて、充実した10年の歩みを知ることが出来ました。

また、昨年度はインテリアデザイン科の同窓会展、そして卒業間もないビジュアルデザイン科、デジタルデザイン科の会員によるグループ展が積極的に開催され、フレッシュな意気込みを見せておりまして、学習内容に共通点の見える両科のこと、互いに、話し合い、刺激し合い、協力し合っただけの共同開催もありました。これらは、これまでご指導頂いた先生方の熱意と学生の意欲によるものと思えます。これからも、その姿勢で研修を重ねられ、ますます、ステップアップされることを願っております。

若い世代の会員の方達は、科を越え、横の連絡網も出来るようです。科は違っても、お互いによく知り、話し合える親しい友人同士だと思います。その横軸をパワーに、これまでの年代の会員と、一緒に将来に向かって、千草会の縦の軸を太く、長く延ばして頂きたいものです。学院長鈴木正治先生のご案内(P2)にありますように、学院では更なる充実を図られるための組織変更の構想と相まって、今年はV D科の入学生も増え、教室使用の都合上、千草会談話室(新館2D)は閉じることになりましたが、山脇展には、ぜひ、お出かけ下さい。見学して頂くことが在校生への励みになることと思えます。(談話室については10ページを参照して下さい)

研修旅行

日程 平成15年5月15日、16日

一泊研修旅行 合同



閑静な森の中の
清里北澤美術館
アールヌーヴォーガラス館

ラ・ヴァーグ
彫刻家ジャルバンティ
エが制作したブロンズ
彫刻を浴室の透過照明
用パネルとしてレリー
フにうつしたもの



展示室ではエミール・ガレやドーム
の作品を見つめて



清里フォトアートミュージアム
八ヶ岳南麓の写真美術館

御坂農園食堂で昼食
新鮮な山菜たっぷりの料理に笑顔!!



富士急ハイランドにて



ウェーブシンガー

メリーゴーラウンド

平成15年度体験入学等のご案内

平成15年度の体験入学説明会の日程が決定しましたので、ご案内いたします。
最近、体験入学・説明会への参加者が年間200名を越え、参加者の約4割の方が入学されております。学院を知って頂くよい機会です。デザイナー・クリエーターを目指す方がいらっしゃいましたら、山脇の体験入学・説明会への参加を、是非、お薦め下さい。
参加希望、資料請求等については、学務課までご連絡下さい。

お問い合わせ・お申し込み先 TEL03-3264-4020

体験入学	学校説明会	学校見学
第1回 7月27日(日)	第1回 6月21日(土)	月曜日～土曜日 (休校日を除く毎日) ※事前連絡不要
第2回 8月2日(土)	第2回 7月19日(土)	
第3回 8月9日(土)	第3回 8月17日(日)	
第4回 8月20日(水)	第4回 8月30日(土)	
第5回 8月24日(日)	第5回 9月27日(土)	
第6回 9月7日(日)	第6回 10月25日(土)	
第7回 11月30日(日)	第7回 11月22日(土)	
※要予約	第8回 12月13日(土)	
	平成16年	
	第9回 1月24日(土)	
	※要予約	
実施時間 13:00～16:30 (受付12:30)	実施時間(1日2回) 第1回 10:30～12:00 第2回 13:30～15:00	受付時間 月～金 10:00～16:00 土 10:00～14:00

就職について
経済状況の影響もあるのでしょうか、平成十五年三月卒業生の就職内定状況はここ数年で最も悪い結果でした。
最近の社会状況では難しいことなのかとも知れませんが、学生ひとり一人が、仕事による社会参加の素晴らしさ、仕事を通して得られる貴重な体験に期待をし、卒業後の進路を真剣に考え、就職活動に取り組んで欲しいと思います。
主な就職先(平成十五年三月卒業生)
(株)日本アート印刷 (株)ホロニック (株)シンク (株)フリーウィル (株)M & A (株)セレクトション(株)レスタック (株)東京トレーディング (株)ギメル トレーディング(株)コム(株)ハイバンド、キザワ・ジェイ・シー・エム(株) (株)アイ・コーポレーション (株)クリード (株)I・C・B・M
●千草会員の皆様からも、在校生の就職に関する情報のご提供をお願い致します。
学務課 就職担当

授業風景



デッサン



他の科の友人と一緒に作るホームページ



ジュワリー実習
細かい作業に夢中



オアシス中庭が
フォトスタジオに



現場の仕事の
話も聞きながら

会員の皆様も学生時代を思い出されることでしょう



講評

学院日より

この4月から、ビジュアルデザイン科の1年生、AB2クラス、2年生と合わせて3クラスを受け持つことになりました。山脇へ来て2年目の私ですが、試行錯誤を繰り返しながら助手としての職務に励んでおります。この1年を振り返ると、とにかく驚いたのは学生の成長ぶりです。2年という期間がいかに密度の濃い時間であるか、学生を通じて思い知らされる気がしています。入学当初は全くの初心者だった学生が1年も経つと技術を覚え、いろいろな表現・表情を見せてくれるようになり、2年生になると制作姿勢にも真摯度が増してきます。この卒業生もこの1年でずいぶん逞しく成長していきました。特に卒業進級制作展での成果は目を見張るものがあり年々質が向上しているとのコメントが多く寄せられました。もちろん各先生方のご尽力あってのことです。かつて私は大学でクラリネットを専攻、卒業後は音楽の世界で仕事をしておりました。しかし、幼い頃から好きだった美術やデザインを学びたいと思い始め、再び学校へ通う事を決意しました。働きながら夜はプロダクトデザインを、帰宅後は課題の制作と、苦勞も少なくなかったのですが、イメージが形になった時の喜びは今でも忘れられません。どの分野においても目標に向かって邁進し、人との関わりで得られる体験・発見は、いくつになっても心地よく、多少まわり道でも年齢を超えて学べたことは刺激的でした。今振り返ってみても貴重な体験だったと思います。
山脇の学生もそうですが、高校新卒者、大学や社会人を経て来る人、留学生等さまざまです。いろいろな年齢・国籍・背景を持った人が入り混じり、同じ目標で語り合い、学べる機会は人生の中でそう多くはないと思います。2年という限られた時間ではあるけれど、体験の一つ一つが将来への自信につながると思っています。私の数少ない経験・体験を伝えられることがあれば伝えていきたいと、そんな風に思っています。

ビジュアルデザイン科 助手 鈴木真寿美

山協展のお知らせ

山協展 10月4日(土) 5日(日) 10時より

山協展の準備はこれからですが、今年は新入生も多く、活気ある学生達のチームワークが楽しみです。授業の課題の発表の他に、各科、アイデアをこらしたイベントで盛り上げたい、とプランを練っています。

昨年は、インテリアデザイン科2年生による、「和」をテーマにした学院玄関の装飾が話題を呼び好評でした。また、カフェ担当の1年生も張り切って、落とした照明と新しいメニューで、カフェの雰囲気を試みていました。

ビジュアルデザイン科、デジタルデザイン科は、それぞれ、映像作品の上映や、ポストカードやオリジナルグッズの販売などで人気を集め、ジュウリーアート科1年生は、ステージ設置プランから当日の進行まで行い、当日はオリジナルティ溢れるボディージュウリーショーを見せました。今年も土、日曜日の開催です。お友達と誘い合わせて、お出かけ下さい。お待ちしております。

学内会員 神山美奈子

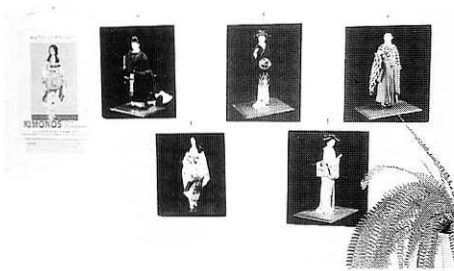


千草会歓談室について

歓談室は、会員の皆様にお出かけ頂き、今の山脇を見学しながら、旧交を温めて頂く場として設けておりました。限られたスペースですが展示も始め、原あやめ先生の絵画展、旧職員の清水美智子さんの素描展(日本画)、昨年は「山脇敏子回顧展」の会場風景写真の展示をしてみました。会員の皆様は閉じることになりました。

昨年は、インテリアデザイン科2年生による、「和」をテーマにした学院玄関の装飾が話題を呼び好評でした。また、カフェ担当の1年生も張り切って、落とした照明と新しいメニューで、カフェの雰囲気を試みていました。

今年も各科の学生が、作品の展示、会場の装飾、演出、食堂のメニュー作りなど、一生懸命頑張っているようです。山脇展には、皆様お誘い下さい。



山脇敏子回顧展より
パリ、チェルヌスキー美術館に寄贈した日本
民族人形の写真パネル 昭和32年

いあわせて、ぜひお出かけ下さいませ。作品をご覧頂き食堂でゆっくりして頂ければ、学生時代を思い出しながらお話しはすむ事かと思えます。

千草会委員

講師・職員移動報告

●退職された先生
ビジュアルデザイン科

母袋夏生先生 (編集デザイン)

インテリアデザイン科

仲宗根良光先生 (集中講義 レイアウトの基礎)

デジタルデザイン科

水岡隆子先生 (プランニング)

●就任された先生
長い間ご指導ありがとうございました。

●就任された先生

ビジュアルデザイン科

品川幸人先生 (編集デザイン 色彩演習)

デジタルデザイン科

清水しのぶ先生 (グラフィックデザイン)

井上朱美先生 (プランニング)

インテリアデザイン科

樋口 誠先生 (空間構成) (再任)

千草会よりお願い

会報をより楽しいものにしていきたいと思っております。皆様のお気づきの点やご感想をお聞かせ下さい。転居や、住居表示の変更になった場合は、お忘れなくご連絡下さい。従来通り学院の窓口まで。お友達の情報についてご存知の方もご連絡下さい。

●その際「封筒の番号」もお願いいたします。

TEL 03・3264・4020

発行 山脇美術専門学院同窓会

〒102・0074

東京都千代田区九段南4・8・21

電話 03・3264・4020